

# 安心 × 絆 × 未来

絆の中で、安心して暮らせる  
—— 未来ある街へ。



## 1 未来を開く世界ブランド都市・金沢

「国際会議のメッカ金沢」の創出



- ① 旧都ホテルと旧日銀の跡地に、市民の為の多目的ホール兼国際会議場の新設を！
- ② 生産労働人口の県内定着に向けた、台湾大企業誘致の推進。
- ③ 小松空港の国際活用と新幹線増便を推進！

## 2 絆で支え合う人にやさしい金沢

「家族・子育て・教育」を切れ目なく支える



- ① 婚活から出生祝い金10万円まで、市役所に「婚活課」を総合窓口として新設！
- ② 18歳までの医療費無料化・小中学校を給食費完全無償化。
- ③ 徳育・人格教育と相談体制拡充で、いじめや孤立のない教育環境を構築。

## 3 安心を守り抜く災害に強いまち

「日常的に備える」防災都市・金沢



- ① 能登復興の後方支援拠点(復興支援センター)として、地震・豪雨・熱中症から命を守る総合対策を断行！
- ② 全避難所のエアコン設置と耐震化。安心できる生活空間を確保。
- ③ 自主防災組織への装備拡充と消防団員確保を、市が全力で支援！

市民の暮らしと挑戦に、本気で応える金沢をつくります。

情熱と信念。  
世界での経験を  
金沢へ！



新年あけましておめでとうございます！

今年は、とりわけも縁起の良い、60年に1度だけ廻ってくる丙午(ひのえうま)の年であります。

「丙」も「午」も火の性質を持ち、力強く道を切り開く、「躍動感」や「活力」「前進」を象徴し、新しい挑戦に光が当たる縁起の良い特別な年であります。

実は、私は今年の年男にあたります！金沢市民の皆様と共に、その声に寄り添いながら「世界一の国際文化都市・金沢」「国際会議のメッカ・金沢」を一緒に創ってまいりましょう！具体的に旧都ホテルの跡地と旧日銀の跡地に市民のための多目的ホールを兼備した第1・第2国際会議場の新設を提案します！

Theme

# 教育現場における徳育の重要性

INTERVIEW

今回のインタビューでは、長年教育現場で高校教育に携わってきた元能登町教育長の石井勲雄先生から、石川県の教育について、「徳育」の観点からお話を伺いました。



—本日は学校教育、特に「徳育」をテーマにお話を伺います。まず、石川県の学力が全国トップである理由について、石井先生からお願いいたします。

石井 私は長く高校教育に携わってきましたが、石川県の学校現場には「何としても子供に力をつけさせたい」という教員の強い思いがあります。家庭もまた教育への期待が高く、学校と家庭が同じ方向を向いて子供を支えてきました。学校

は勉強する場ですが、同時に徳を育てることが人間形成の基盤だと、常に感じております。

—ありがとうございます。では徳野先生、海外から見た日本の教育はいかがでしょう。

徳野 日本の学力水準は世界的にも高く、特に石川県の成果は素晴らしいです。ただ、アメリカで感じたのは、独創性や主体性を徹底して育てる教育の重要性でした。正解を覚えるより、「あなたはどうか考えるのか」を問う姿勢です。一方、日本は自己肯定感が低い若者が多く、そこが自殺の多さにもつながっていると感じています。

—自己肯定感や心の問題は、家庭教育とも深く関係しますね。

石井 その通りです。自殺やいじめは突然起こるように見えて、必ず兆しがあります。教師や大人が日常の中で子供をよく見守ることが何より大切です。机の前だけでは教育はできません。

徳野 私は今こそ、倫理・道徳を土台にした人格教育、いわゆる「特育」を教育の柱に据える必要があると考えます。自分を大切にできる心が育つてこそ、人も大切にできる。その判断力を育てることが、未来の社会を支える力になります。

—教育は国の百年の計とも言われます。本日の対談は、これからの教育を考える大きなヒントになりました。ありがとうございました。



## とくのえいじ Profile 徳野英治 プロフィール



- 1954年 石川県金沢市生まれ
- 1966年 石川県輪島市門前町立諸岡小学校卒業
- 1969年 石川県輪島市立門前中学校卒業
- 1972年 石川県立金沢二水高校卒業
- 1979年 富山大学経済学部卒業  
統一運動における2つの大陸会長を歴任  
世界平和統一家庭連合元会長(第11代、第13代)
- 2024年 故郷・金沢に戻る  
一般社団法人「ときめき輝く金沢」創設・代表理事  
政治団体「かなざわ輝きフォーラム」常任顧問

# TOKUNO NEWS



11月10日

## 市長選挙出馬記者会見実施 地元メディア12社が取材に駆け付けた



朝日新聞、読売新聞、北國新聞、NHK、はじめ民法各社、共同通信、時治通信等が取材に駆け付けた。

徳野は世界平和統一家庭連合(旧統一教会)の要職を歴任。「海外40カ国を訪問した経験と人脈を活かして、地域経済を発展させたい」と意気込みを語る。

取材で教団からの支援を受けるかどうかとの質問には、「組織的な支援は受けませんが、応援したいという会員も多数います。個人の熱い思いが込められたカンパで運動資金を集め、選挙を戦っていきたい」と述べました。



11月16日

## 事務所開き



後援会事務所開設時の会長 北野博之のあいさつ  
「金沢の未来を担う若者の人格教育・道徳教育に力を入れたいという徳野さんの心意気に感銘しました。心豊かな人材を育てることが、未来の希望となります。微力ながら応援させていただきます。」

徳野英治の活動を支えて下さる  
後援会員を募集しています。



政治活動をお支えいただく為の  
個人献金を募っております。



## 徳野英治後援会事務所

〒920-0345  
石川県金沢市藤江北4-395  
ABox3セバレーツ106  
TEL:076-213-6781  
FAX:076-213-6782

